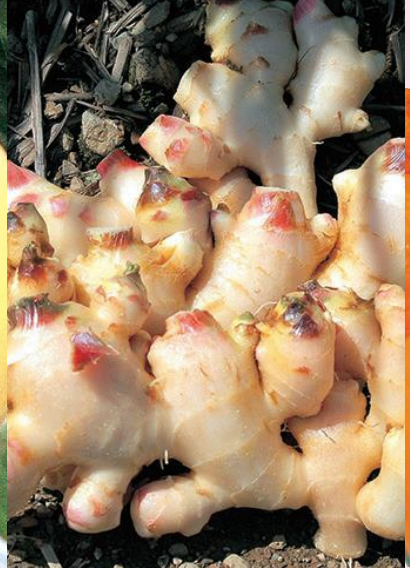

フードバレーやつしろ

「フードバレーやつしろ」とは、本市にある豊富な農林水産物や加工品の付加価値を高め、関連産業の集積により、「食」に関連するあらゆる産業の活性化を図ることで、本市の振興・発展につなげる取り組みです。

問合せ　フードバレー推進課（本庁仮設庁舎東棟２階）☎ 33-8780

Mail　food@city.yatsushiro.lg.jp

【平成29年度の取り組み状況】

①八代港を活用した輸出促進

■海外流通の専門家による巡回アドバイスを実施

海外展開に関する広い人脈と専門知識を持ったアドバイザーと職員が一緒に事業所を訪問し、さまざまな相談に応対しています。

今年度はのべ約60回の事業所訪問を行い、これをきっかけにイ草関連商品の台湾向け輸出や海外フェアへの出展など新たな取り組みを始める事業所もあります。

■事業者の海外展開をサポート

台湾で開催された高雄国際食品見本市に八代ブースを出展し、４事業者の商談サポートを実施しました。また、インターネット広告を活用した海外展開の支援も行いました。

高雄での国際食品見本市

■海外バイヤーとのマッチング

台湾や香港からバイヤーを招き、農産物の産地視察や、市内事業者との商談を実施しています。たとえ商談が成立しなかった場合も、海外のニーズや課題を知ることができます。また、課題解決に向けたフォローアップも行っています。

香港バイヤーの招聘（しょうへい）

■農産物の輸出

香港の春節（旧正月）の贈答用として、八代特産の晩白柚約３０００個を八代港から輸出しました。また、イ草製品についても、台湾に輸出しており、現地百貨店などで販売しています。

晩白柚出発式の様子

■台湾基隆（キールン）市での県南フードバレーフェアの開催

2月3日(土)と4日(日)に台湾の基隆市でくまもと県南フードバレーフェアを開催し、観光物産展、八代産畳のPR、また、剣道や民謡の披露など日本文化の紹介を行いました。

台湾基隆市での
くまもと県南フードバレーフェア

②国内販路開拓支援

■販路開拓をサポート

国内における販路開拓に取り組んでいる生産者・事業者を訪問し、農林水産物や加工品の種類・量に応じた販路を紹介しています。

■農林水産物・加工品のマッチング

青果としての販路や、加工品などの原料としての販路を開拓するため、大手食品メーカーから小売店まで幅広く、八代産農林水産物の提案を行っています。

また、市内事業者が製造する加工品を、卸業者や商社、飲食店などのニーズに応じて提案し、マッチングを行っています。

この他にも、メーカーなどから要望があった農林水産物や加工品を探し、紹介する業務にも取り組んでいます。

平成29年度はサポートとマッチングでのべ約180回の事業所訪問などを行いました。

実績の一例

- 規格外の八代産イチゴをヘタ取り・冷凍加工したものを、関西のジャム専門店へ提案し、『ミックスベリージャム』の原料として採用。
- 東京に本店を置く洋菓子製造販売会社の「熊本フェア」開催に併せて、食材を提案。本店サロン(喫茶)で提供される『熊本御膳』に市内事業者の日奈久ちくわ・いきなり団子・青のりが採用。また、ショウガを使用した『マドレーヌ』も販売。

ミックスベリージャム(右上)

ショウガを使用した
マドレーヌ(左上)

熊本御膳(左下)

③6次産業化・農商工連携促進

■事業者の活動支援

平成27年度から、6次産業化推進アドバイザーと連携して、新商品開発や販路拡大、農産物のブランド化などに関する支援のため、相談会の開催や定期的な事業所訪問を実施しています。

今年度はのべ約150回の事業所を訪問しました。

また、昨年10月から、九州最大の消費地である福岡市でトマトやショウガなどの農産品をはじめとした商品を販売する物産展「やつしろプロモーション」を10回程度開催し、お客様に好評です。

商品開発支援会議

福岡市での
やつしろプロモーション in 九州

■八代産農林水産物等PR事業補助金

展示会や商談会に出展する際に必要となる出展料や旅費などの経費について、補助（対象経費1／2以内　限度額50万円）を行いました。

平成29年度は、15事業者がこの補助金を利用し、国内外における販路開拓に取り組みました。

新商品開発の実績紹介

平成29年度の実績の一例として、通称「八代うまい棒」を紹介します。

「八代うまい棒」は冬・春トマトの生産量日本一を誇る「はちべえトマト」を原料とした商品で、観光部門と連携して取り組みました。

パッケージにはやつしろ全国花火競技大会の花火とユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭で人気の「亀蛇」や「くまモン」、「とまピン」（やつしろTOMATOフェスタイメージキャラクター）をあしらい、海外や県外から八代を訪れるお客様にも八代の魅力を知ってもらえるような商品を目指しました。

この「八代うまい棒」は、昨年10月21日の発売以降、2カ月で約16万本を販売し大好評でした。現在、品切れ状態ですが、今年の秋には再生産を検討しており、本市のお土産などとして定着するよう取り組んでいます。

このような商品づくりを通して、本市のイベントのさらなる知名度の向上とともに農産物などを県内外へ広くPRし、地域活性化の一助となるよう、取り組んでいきます。